



2013-2014

AÑO DE JAPÓN EN ESPAÑA
日本スペイン交流400周年

400 AÑOS DE RELACIONES

太陽シンポジウム

in 都城

講演資料

平成26年 4月19日(土)

目次

1. 講演Ⅱ

「日時計の楽しみ」

講師：押田 榮一 氏

..... 1-①～②

2. 講演Ⅳ

「球形日時計

～イタリア日時計コンペについて～」

講師：小野 行雄 氏

..... 2-①

3. 講演Ⅴ

「紫外線を知る

～楽しい環境学習～」

講師：村上 規代 氏

..... 3-①～④

4. 講演Ⅵ

「スペインの日時計」

講師：沖 允人 氏

..... 4-①～⑤

「日時計の楽しみ」

－ お日さまと共に －

日本日時計の会

押田 榮一

私たちの生活はすべてお日さまのおかげです。昔から、太陽を敬い、親しみを込めて「おてんとうさま」「御天道様」とも呼びました。一日の始まりは日の出から、そして食料やエネルギーなど沢山の恵みをお日さまから頂きますが、あまりにも当たり前のことなので日頃は忘れてしまっているようです。時々、思い出さなければいけないのですが、それを思い出させてくれるのが「日時計」なのではないかと思うのです。このデジタルの時代に今さら日時計なんて、とお思いかもしれませんが、この超アナログ時計を見直して頂きたいと思うのです。秒刻みの生活から離れて悠久の時を過ごしませんか。

1、お日さまの恵み

陽が昇ると、明るく、そして暖かくなり、一日のリズムを刻み始めます。

光 明るさ

可視光線、紫外線、赤外線

光合成 $\text{CO}_2 + \text{H}_2\text{O} \rightarrow$ 炭水化物（食糧）

熱 物を干す、乾かす、天日干し

日光浴、日向ぼっこ、日焼け

火を熾す 点火（オリンピックの聖火）

時 お日さまの動きが時を告げます。

2、エネルギーの源としてのお日さま

太陽光発電 光を電気に変換

水力、風力、波浪、海流 太陽熱による気象現象

化石燃料 石炭、ガソリン 基は太陽光に育てられた植物・動物

総てのエネルギーの基はお日さま、太陽です。

3、お日さま（太陽）の動きが時間の基

お日さまが出れば一日の始まり

一年は365日 正確には365,242日 閏年がありますネ

一日は24時間 正確には23時間58分4,09秒

お日様が真南に来ればお昼（12時）です。

場所によって違います。

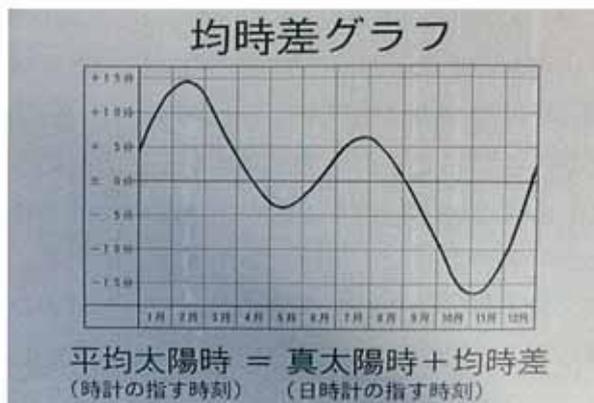
都城市は 東経131.4° 北緯31.43°

標準時より16分遅いです。東京は19分早いのです。

季節によっても違います。

均時差（真太陽時－平均太陽時）は

+14.5分、-16.5分で「0」になるのは年4回です。



場所（経度差）や季節（均時差）によって違うと困るので「標準時間」を作りました。これで全国、全世界同じ時刻を指すことが出来るようになりました。

真太陽時 太陽が真南に来た時 日時計の指す時刻

平均太陽時 = 真太陽時 + 均時差

標準時 = 平均太陽時 - 経度差

4、日時計の楽しみ

時刻を知るには太陽の位置を知ればいいのですが眩しいので「影を見る」という知恵。影の長さや方向から時刻を知ろうということですが、古代エジプトの時代には地面に棒を突き刺すだけのものでしたが、やがていろいろな「日時計」が工夫されます。人類史上「最古の道具」「最古の科学装置」とも呼ばれております。

日時計は正確な天文学、幾何学による設計と美学、芸術との融合造形作品です。そして経度緯度が違えば皆違うわけですからその都度オーダーメイドです。いろいろ工夫された日時計には沢山の種類がありますが「そこ」へ行かなければ見られません。国内各地の、あるいは世界の日時計を見て歩くのも楽しそうだと思いますか？ 日時計の原理、作り方（設計・製作・施工）、より正確な工夫、珍しい日時計の紹介など日時計の好きな人が集まって情報交換や親睦をはかるために会を作っています。あなたも参加されませんか。

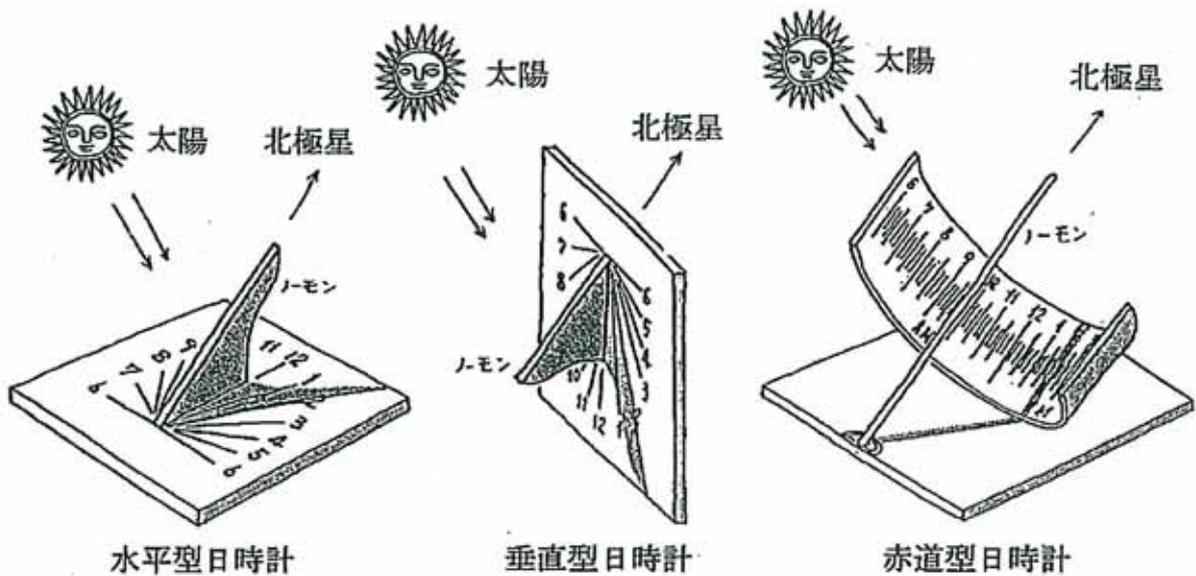
そして、日時計を眺めながら、お日さまのお恵みのもと、自然の中で生きていることを時どき思い出し、悠久の日々をお過ごしになりませんか？

日時計とは？

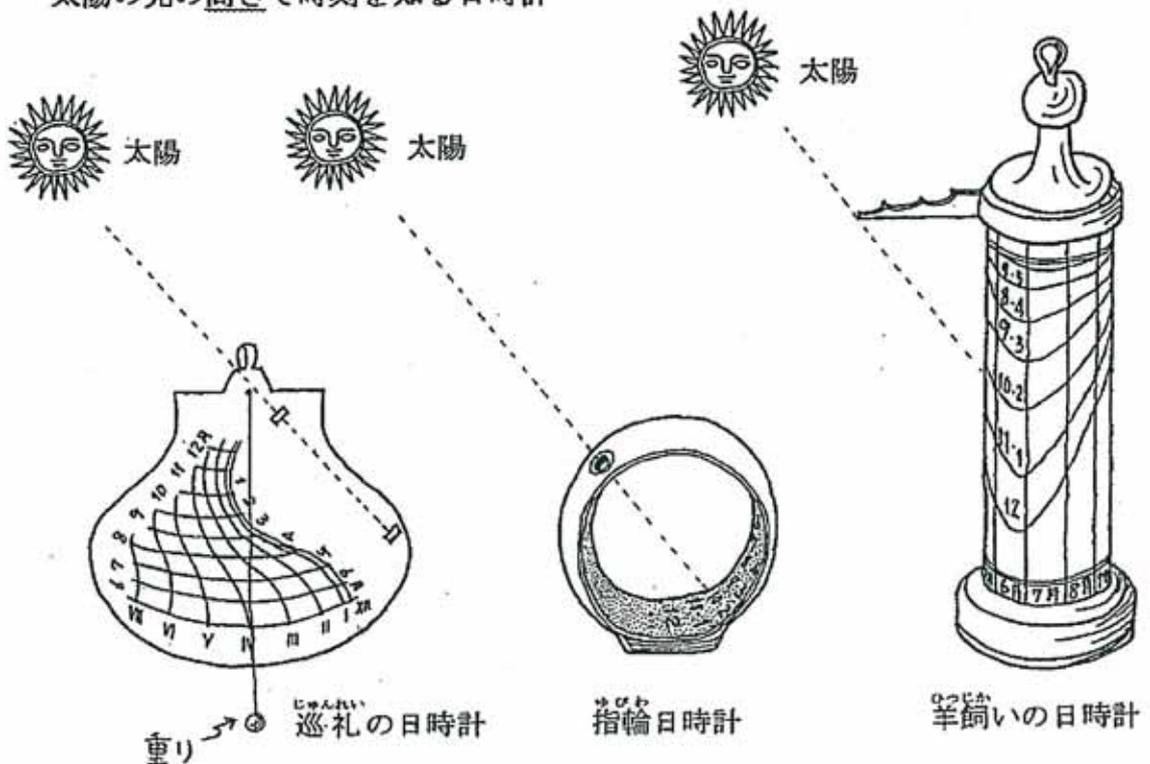
日本日時計の会

日時計は、太陽の光や影の方向・長さ・高さを利用して時刻（時間・季節）を知る道具です。今から 3500 年ほど前にエジプトで作られたといわれ、もっとも古い科学装置の一つです。

—太陽の光の方向で時刻を知る日時計—



—太陽の光の高さで時刻を知る日時計—



～体験型たのしい環境学習～

紫外線を色でキャッチ

紫 外 線

学習展開

紫外線の存在を確かめる→オゾン層のはたらき→フロンガス→オゾン層破壊→紫外線の被害と対策

*ゴミの分別（地球温暖化防止）



月日：平成26年4月19日（土）

会場：ロイヤルホテル

講師：ベルマーク全国実験名人 村上規代

紫外線 < UltraViolet radiation >

1 太陽光線には波長があり、波長によって分けられています。

*長さの単位は、nm(ナノメートル)で表わし、10億分の1メートル。

280			315			400			780			①表
紫外線			可視光線						赤外線			
C	B	A	紫	藍	青	緑	黄	橙	赤			
目に見えない			目に見える						目に見えない			

短い

2 太陽光線とオゾン層

②模型

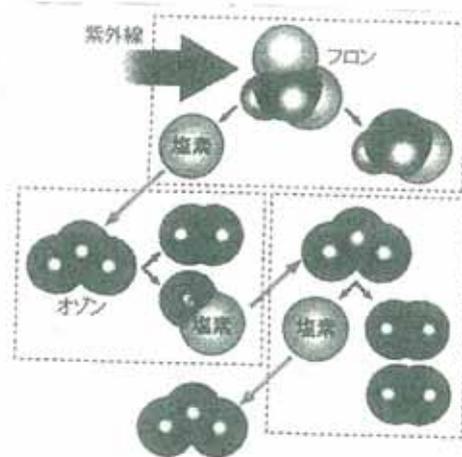
紫外線Aとわずかな紫外線B、可視光線、赤外線は、地上から15~50km上空にあるオゾン層の中を通りぬけて地球に届きます。ほとんどの紫外線BとCはオゾン層に吸収されています。もし、BCが届いたら生きものは全滅します。オゾン層は「地球を守る宇宙服」といわれる大切なものです。オゾン層の観測は、南極の昭和基地、那覇、南鳥島、筑波、札幌で観測されています。オゾン層破壊を最初見つけたのは南極で日本人です。

3 オゾン層とフロンガス

③ガス

地球にとって大切なオゾン層を私たちが捨てたフロンガスで壊しています。フロンガスはものを冷たくするガスで冷蔵庫・クーラーが作られています。フロンガスはどんなものとも化学変化を起こさず、生きものにも害を与えないと言われ、安心して車もスクラップして廃棄していたのです。

大気中に出たフロンガスはゆっくりと10数年かけてオゾン層にまでたどり着きました。上空には地球では考えられない強い日ざしがあって、フロンガスにふくまれている塩素が飛び出し、オゾンをこわしています。現在は塩素を抜いたノンフロンガスが開発されて新車に使われています。



(オゾン層破壊のメカニズム)

4 紫外線の種類と働き

種類	はたらき
紫外線 A	①オゾン層にほとんど吸収されずに通り抜け地球に届き、紫外線 B と共に果物、野菜、花などの色を鮮やかにする。 ②当たりすぎると、しわ、たるみの原因となります。
紫外線 B	①殺菌作用が強く(布団干し・洗たくもの) ②紫外線 A と共同してりんご、ほおずきを赤くする。 ③ヒフにあたると、DNA をこわし、ヒフガン、白内障、いろいろな病気に対する免疫力が低下します。 ④ヒフに当たると、しみの原因となる ⑤ヒフでビタミン D を作り、ビタミン D はカルシウムの吸収をよくして骨を丈夫にします
紫外線 C	①紫外線の中で最も有害です。オゾン層で完全に吸収され現在も地球に届いていません。しかし、オゾン層破壊が進むと、地球上にふりそそぎ生命あるもの全て生きていくことはできません。

5 目に見えない紫外線を確認する方法

- ① 紫外線測定器 ② フォトクロミック紫外線反応インキ(忍者えのぐ)

6 フォトクロミック紫外線反応インキ(忍者えのぐ)

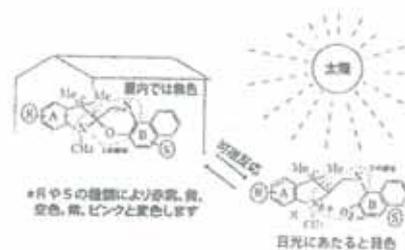
忍者えのぐは紫外線の存在を自分の目でたしかめるえのぐです。えのぐは室内では白色、紫外線にあてると色がでてきます。紫外線が強ければ強いほど色が濃く出ます。色は赤紫、ピンク、黄、空色、紫と5色ありますが、色を混ぜ合わせると他の色を作る事ができます。(例；黄緑は空色と黄色を混ぜる)

学習展開

紫外線存在を発色で確かめる→オゾン層の働き～フロンガス～オゾン層破壊～紫外線について知る～紫外線の被害と対策 *ゴミ分別

*なぜ、色が出たり、消えたりするのか？

私たちは室内にばかりいると色が白くなり、太陽光に当たると“日やけ”します。その日やけするのは紫外線ですが、日やけはヒフ内の組織が変わっているのです。これとやや似た現象で、日やけする前の人間と同じように忍者えのぐも室内には紫外線がないのでまっ白です。えのぐを紫外線に当てたとたん、顔料分子構造が変わって色がでてきます。分子構造は色毎に異なります。



空色の分子構造 (図)

7 忍者えのぐを使っての実験 <下記の作品で紫外線の存在を確かめる>

- ① 顔で最も日焼けするところ(ヒフガン) *ブラックライト使用 ④発色
*本当に紫外線をカットしているかを調べる実験 ⑤顔の絵

- ② UVカットクリームを選びかた ⑥クリーム見本
日やけ止めクリームの成分は紫外線を吸収または散乱させるものです

* **SPF**とは **Sunprotection Factor** の略で紫外線 B をカットする

SPF 25 と **SPF 50** の意味は?

計算例: **SPF1**とは、紫外線 B を 20 分間だけカットする意味。

SPF 25を使った場合は?

$20 \text{分} \times 25 = 500 \text{分} \div 60 \text{分} = 8 \text{時間}$ 20 分間だけ紫外線 B を防ぐ

* **PA**とは **ProtetionA** の略で、紫外線 A をカットする

+ **++** **+++** の意味は?

+が多いほど、紫外線 A のカット率が強いという意味。

- ③ 忍者絵: お絵描き大会 ⑦お絵かき見本

- ④ 忍者ねんどで忍者さくら作り ⑧忍者ねんどの見本

* もちお桜まつりで作る ⑨忍者桜の花束見本

* 海外旅行団体の方におみやげ ⑩ケース入忍者桜見本

- ⑤ 忍者バルーンスライム作り ⑪実演

8 紫外線対策 ⑫帽子実物見本

イ 屋外では、日傘(柄を短く持つ)、つばの長さが 7 cm 以上ある帽子着用。
色は外側が白っぽく、内側は黒っぽい色がよい。

*理由: 明るい色は光を反射、黒は紫外線に強いがふく射熱で熱射病になり易い

ロ 屋外で作業や運動を長時間行なう人は、1 時間に 15 分程度木かげで
休む、<木かげがない時は、タオル又は服で顔を被う>

* 15 分間休む理由: ヒフは 15 分間で再生能力があるため

ハ 日常生活には SPF25、海辺や海外では SPF50 の UV カットクリームの
使い分けをし、必ず試しぬりをする。(子どもは子ども用を使う)

*数値が高いものは、肌が痛むので、数値の低いのを数回分けてぬる
のがよい。*学生は学校の規約に従い使用。

ニ 服の生地は凸凹織がよい。色の選び方は濃い目の色がよいが、ふく射
熱で熱射病になりやすいので、注意します。

ホ サングラスは色が暗すぎず、両サイドから UV を防ぐデザインがよい。

*詳しく知りたい人は「忍者えのぐであそぼう」仮説社 村上規代著 参照。



沖 允人
(足利工業大学・名誉教授)

2013年10月

日本日時計の会

連絡先・326-0808 足利市本城 3-3905-7-703 メール okim95@aol.com

太陽をめぐる日時計の旅・目次

はじめに	1
第1部 太陽をめぐる日時計の旅	3
第1話 世界最古の科学装置・日時計	5
第2話 日時計のいろいろ、付・日時計の分類と型・概要	9
第3話 日本の日時計	15
第4話 日時計のあふれる町、ベルギーのルッペルモンデ	19
第5話 スペイン・クエンカとマドリード日時計の旅	23
第6話 ポルトガル・リスボン日時計の旅	27
第7話 ドイツ・ゲルリッツとレッティンゲン日時計の旅	31
第8話 北京・上海・南京日時計の旅	36
第9話 スペイン北部「巡礼の道」日時計の旅	40
第10話 韓国日時計の旅	45
第11話 ボストン周辺日時計の旅	50
第12話 イスラエル日時計の旅	54
第13話 トルコ日時計の旅	61
第14話 オーストラリア(1) アデレード・メルボルンの日時計の旅	68
第15話 オーストラリア(2) タスマニア・シドニーの日時計の旅	74
第16話 ニュージーランド日時計の旅	81
第17話 シアトル日時計の旅	88
第18話 北欧三国の日時計(1) デンマークとスウェーデン	95
第19話 北欧三国の日時計(2) ノルウェー	103
第20話 チェコ日時計の旅	112
第2部 日時計紀行	123
1 オーストリア・ウィーン	125
2 チェコ・ズノイモ〜プルノ	135
3 チェコ・クラークヴェー	143
4 チェコ・プラハ	159
5 インド	183
6 スペイン・バルセロナ	193
7 北イタリア	197
8 北海道・函館、札幌、帯広、網走	207
9 東北地方・青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島	215
10 三重県・和歌山県	241
第3部 日本の日時計登録表	247
1 日時計登録表・写真について	250
2 日時計登録表・乗別略記号(ABC順)	251
3 日時計の主な型・英文略記号(Sundials Types)	251
4 日時計の分類と型・案(概要)	252
5 日時計登録表・乗別(ABC順)	253
6 日時計表写真抜粋	283
附録	303
1 日本の時と日時計の歴史・抄	305
2 日時計の分類と型・案	309
3 日時計の旅から・沖道子	323
①スペイン ②ポルトガル ③ドイツ ④ベルギー ⑤チェコ	
⑥イスラエル ⑦アメリカ ⑧スウェーデンとデンマーク	
⑨ノルウェー ⑩ニュージーランド	
あとがき	351

太陽をめぐる 日時計の旅

第5話

スペイン・クエンカとマドリッド日時計の旅



世界遺産の町クエンカ

スペインのクエンカ (Cuenca) に長年住んでいる日本日時計の会会員の又木啓子さんの企画で2008年10月24日から2日間、クエンカで「太陽と芸術 (Sun and Art)」という国際会議が開催された。又木さんは、太陽と人間をモチーフとする抽象画家であり、町や公園の景観デザイナーでもある。クエンカは、マドリッドの東南東約165km、標高約920mにある古都である(図1)。



図1 スペイン・ポルトガルの位置図

マドリッドからバスで約3時間かかってクエンカに着き、世界遺産になっている旧市街にある又木さん紹介のポサダ・デ・サンホセ (Posada de San Jose) というホテルに入る。昔、スペインを代表するバロック期の画家であったディエゴ・ベラスケス (Diego Rodriguez de Silva y Velázquez) の親戚が経営していたといわれる15世紀の「はたごや」である(写真1)。

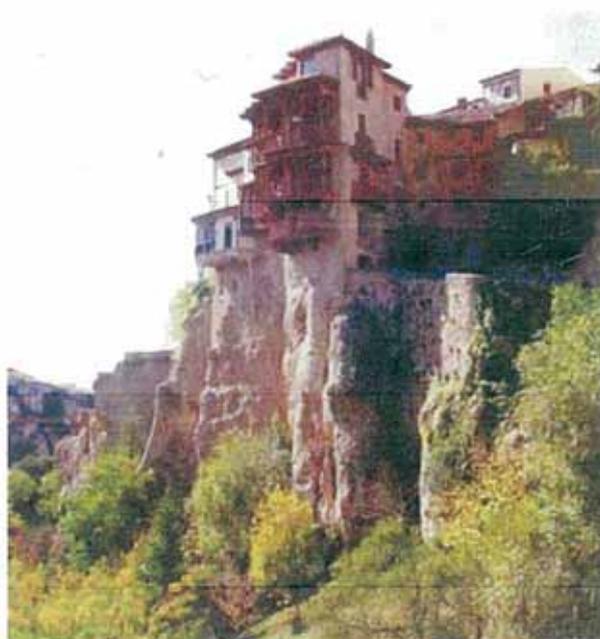


写真1 クエンカの世界歴史遺産になっている傾いた家

太陽の広場

クエンカの北部の新しい商業地区にあるピジャ・ロマン公園の中に、又木さんが太陽に関するモニュメントとしてデザインした直径約30mの円形広場「太陽の広場 (Plaza de TAIYO)」がある。南側に約7mの円錐形の塔が立ち、その影が地面に刻み込まれた時刻線によって日時計の役目を果たしている。4種の腰掛け、仕掛けや遊びごころのあるオブジェなどがある。2006年の秋に製作・設置された(写真2)。



写真2 太陽の広場(クエンカ)

クエンカの町に屋外日時計はないが、考古学博物館(Museo Arqueológico)には、エジプト時代の古い球面型日時計が1個展示してあった。しかし、これはクエンカで出土したものではなさそうである。

アルカス村の教会

翌日の午後、クエンカの北東約12kmにあるアルカス(Arcas)村の教会に行く。その教会で発見されたノーモンの無くなっている古い日時計に、新しく製作したノーモンを取り付け、日時計を生きかえらせるというイベントがあった(写真3-1, 3-2)。

日時計は1227年の刻みのある古いものである。発見後、丁寧に清掃され綺麗になっていた。直径約50cmの円形で時刻線を壁に直接刻んだ壁面型日時計である。日時計の下にある門柱に「沖允人立ち合いで復元した」という意味のことをスペイン語で刻んだ金属銘板が取り付けられている。製作・

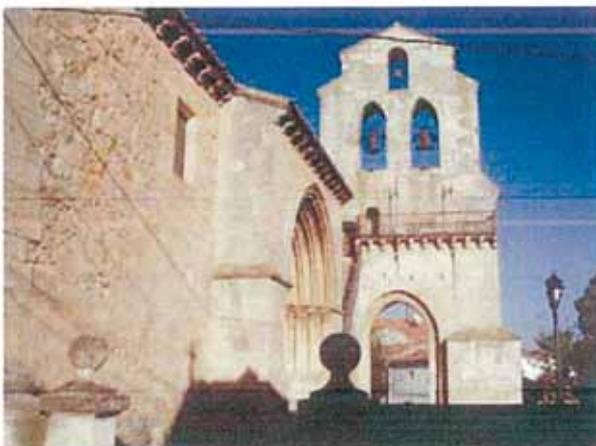


写真3-1 アルカス村の教会(クエンカ)

準備したのはクエンカのイネラリア社(ITINERARIA SL.)の若いヌネズ社長(Adolf Ballega Nunez)である。ヌネズ社長は公園などに設置する影ぼうし型日時計(人間日時計)の設計・製作を行っている。

セレモニーには、村の有識者が出席し、新聞社とテレビカメラも取材に来ていた。新しいノーモンは金属製で直径1cm・長さ約30cmで、長い折りたたみ梯子で登ったイネラリア社の女性の職人が慣れた手つきで取り付けた。

帰路に別の教会にも同じような日時計があるというので、車で日時計のある村まで案内してもらう。大きな壁面の右の入り口の柱に直径約30cmの円形の壁面型日時計が刻まれていた。しかし、ここもノーモンはなくなっていた。発見したヌネズ社長と又木さんの推測だと、刻まれている時刻は教会での祈りの時刻を示すものではないかという。

寒いマドリード

クエンカからマドリードに戻った11月4日は、曇り後雨の寒い日であったが、リストと地図を頼りに市内の日時計を地下鉄・タクシー・徒歩で訪ねた。

ホテルから近いイグデ・サン・マルティン教会の日時計を見ることにして、午前8時にホテルをでて地下鉄1号線で4駅ほど乗り、グラン・ビア(Gran Vía)で下車する。まだ薄暗く、気温も5℃で大変寒い。



写真3-2 アルカス村の教会の日時計修理

イグデ・サン・マルティン教会近くと思われるところにある3軒のホテルで教会の場所を聞いたがなかなか分からず、30分ほど探してやっと見付けた。小さい教会で日時計は東南角の壁の高さ5mほどのところにあり、かなり傷んでいる。ノーマンは辛うじて残っている。手前は殺風景なコンクリートの広場になっている。

そうこうしているうちに午前9時半になり、近くの観光案内所が開いたのでマドリードの日時計の場所について聞く。住所が分からないのでなかなか場所が特定できない。しかし、親切にあれこれ調べてくれて、ほぼ全部が分かった。中には日掃りで訪ねるのに遠すぎる場所もある。今回は、時間の関係で、市内中心部の日時計に限ることにする。

国立考古学博物館

まず、国立考古学博物館 (Museo Arqueológico Nacional) に行く。入場料は無料であった。中学生が大勢きて学習していた。ここに展示してある古い日時計は、球面型日時計で上部が水平になっていて小さい穴が一つ開いている。そこから太陽光線が球面の内側に落ち、描いてある時刻線で時刻を読み取るようになっている。上部の小さい穴は薄い鉄板で蓋がしてあって、この鉄板の上で太陽熱を利用して料理も作ったという(写真4)。国立考古学博物館は先史時代から現代に至るまでのス



写真4 球面型日時計(マドリード・国立考古学博物館)

ペインの歴史を貴重な歴史遺産を展示しながら紹介している。胸像「エルチェ婦人像(La Dama de Elche)」と地下にあるアルタミラ洞窟の壁画が有名である。

国立考古学博物館のすぐ北の野球場ほどあるコロソ広場(Plaza de Colon)にでると中央に、高さ17mのコロンブスの四角な大きなモニュメント(Monumento a Colon)がある。コロソ広場はコロンブスのアメリカ到達を記念して建てられたものである。モニュメントの一面にある女神の像の足元近くに丸い輪飾りがあり、その横に小さな直径30cmほどの古い円形の垂直型日時計がある(写真5)。

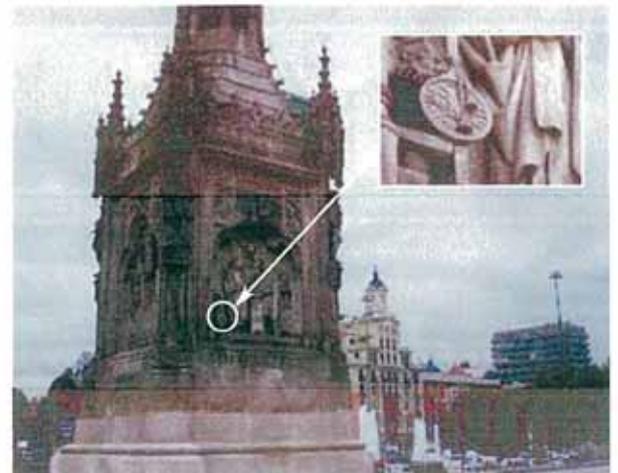


写真5 コロンブスの像・下部にある女神像の足元に垂直型日時計(マドリード)

国立考古学博物館から地下鉄で2区北のグレゴリオ・マラノン駅(Gregorio Marañon)の北東に工科大学(Esuela Tecnica Superior de Ingenieros Agronomos)の広大なキャンパスがあり、ここに日時計があるという情報であったが、工科大学はもう一箇所あり、どちらにあるのか確定できず、日時計を探すのを諦めた。また、工科大学から北にパセオ・デ・ラ・カステラナ(Paseo de la Castellana)という大きな通りがあるが、その北端の、地下鉄1号線のベゴナ(Begona)で下車したあたりに日時計があるらしいが、マドリード・チャマルティン駅の北北西の2kmあたりと聞き、ここも徒歩では無理のようで今回は割愛する。



2013-2014

AÑO DE JAPÓN EN ESPAÑA
日本スペイン交流400周年

400 AÑOS DE RELACIONES

太陽シンポジウム in 都城



TAIYO Symposium in Miyakonojo



後援：宮崎日本スペイン協会、宮崎「橋の日」実行委員会、21世紀研究会、NPO あすの宮崎、BTV ケーブルテレビ株式会社

2014年 4月19日 (土)

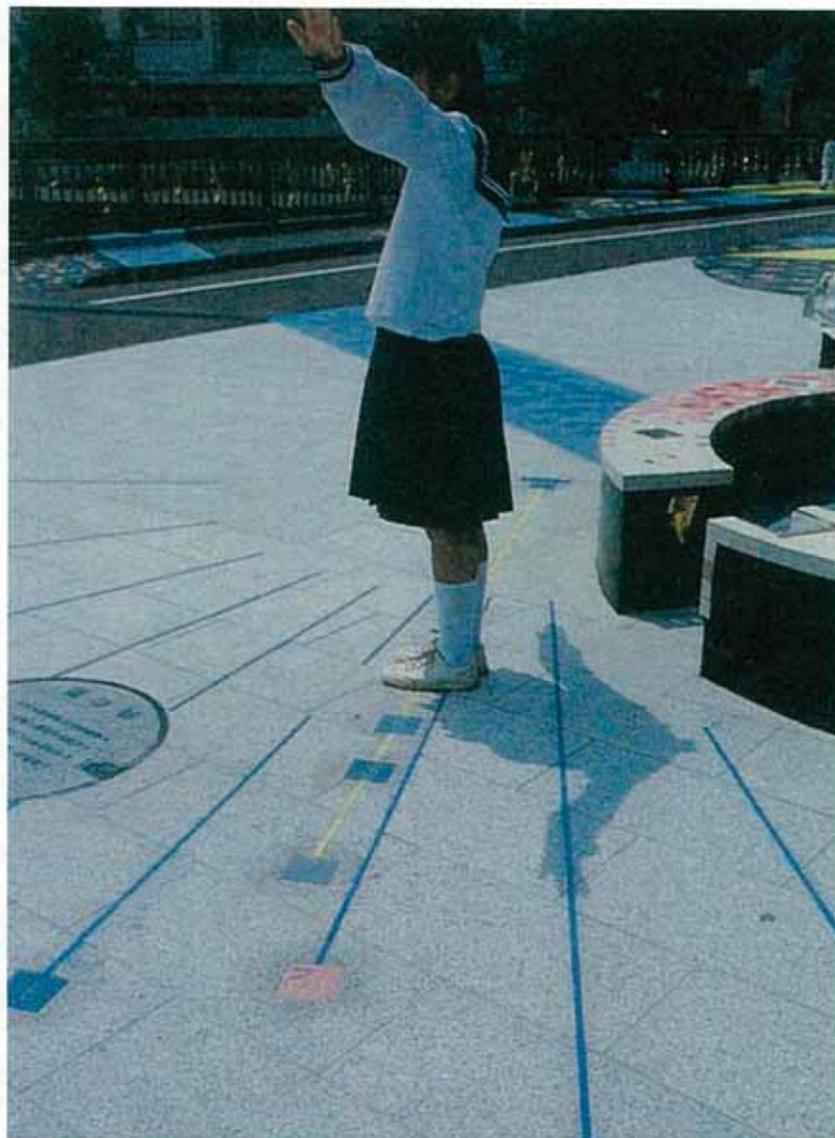


散步道“光”2001

散歩道“光” 試してみよう日時計

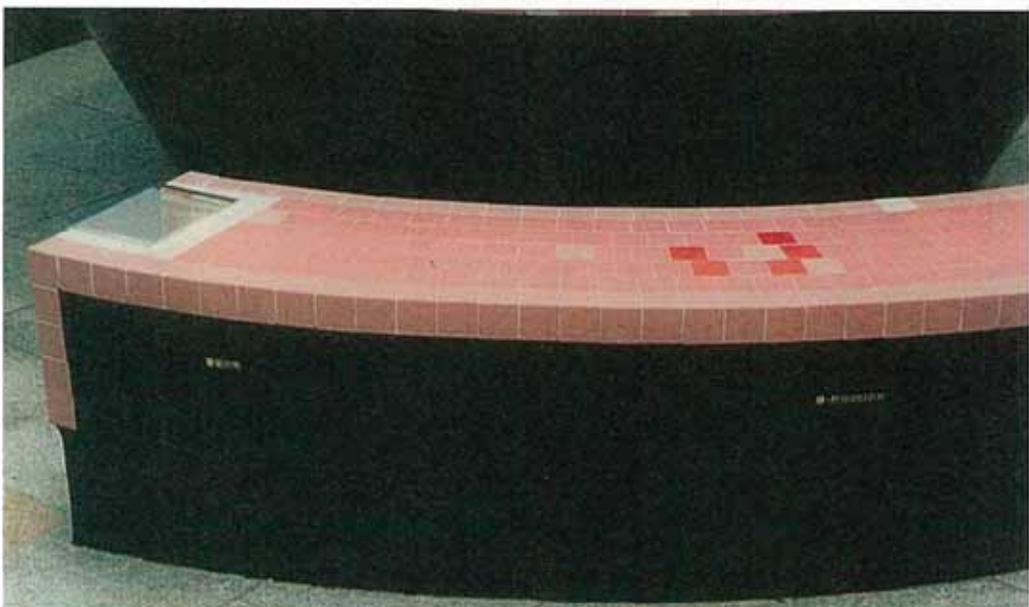


日時計



時の影(アクション日時計)

自分の身長点に立ち、片方の手指で南十字星を指す。もう片方の腕をその延長として伸ばし、北極星を指差す。この両腕の影が時刻を示す。近くの高校の教師とのコラボで実現。この行動が指針となる世界でも稀な日時計である。



夏至の光通過点

春・秋分の日光通過点



未来へのたまたご箱Ⅱ

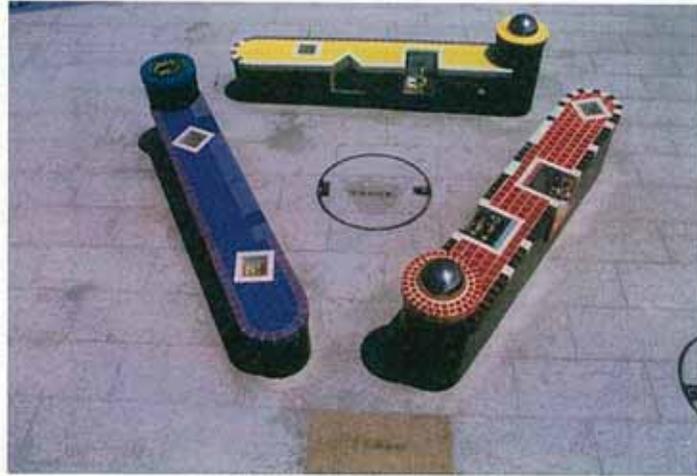


市民の未来へのメッセージ「リレーカプセル」
が埋め込まれている。

宇宙の力に触れてみよう
楽しいひと休み



わ



三人寄れば文殊の知恵



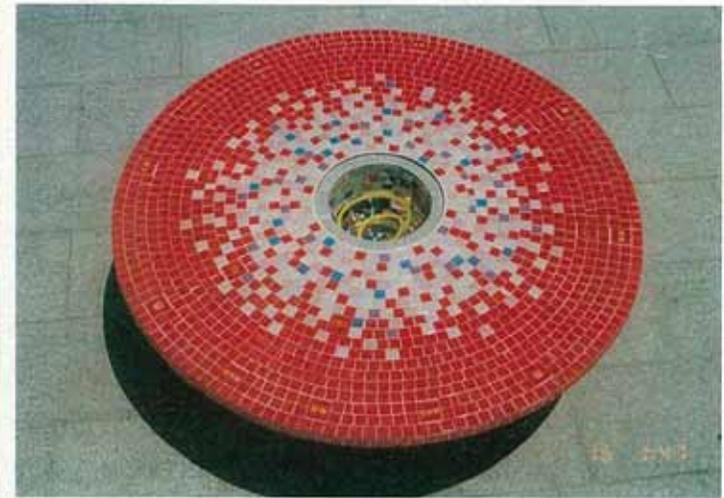
ラジオメーター



球面对の鏡



わのわ

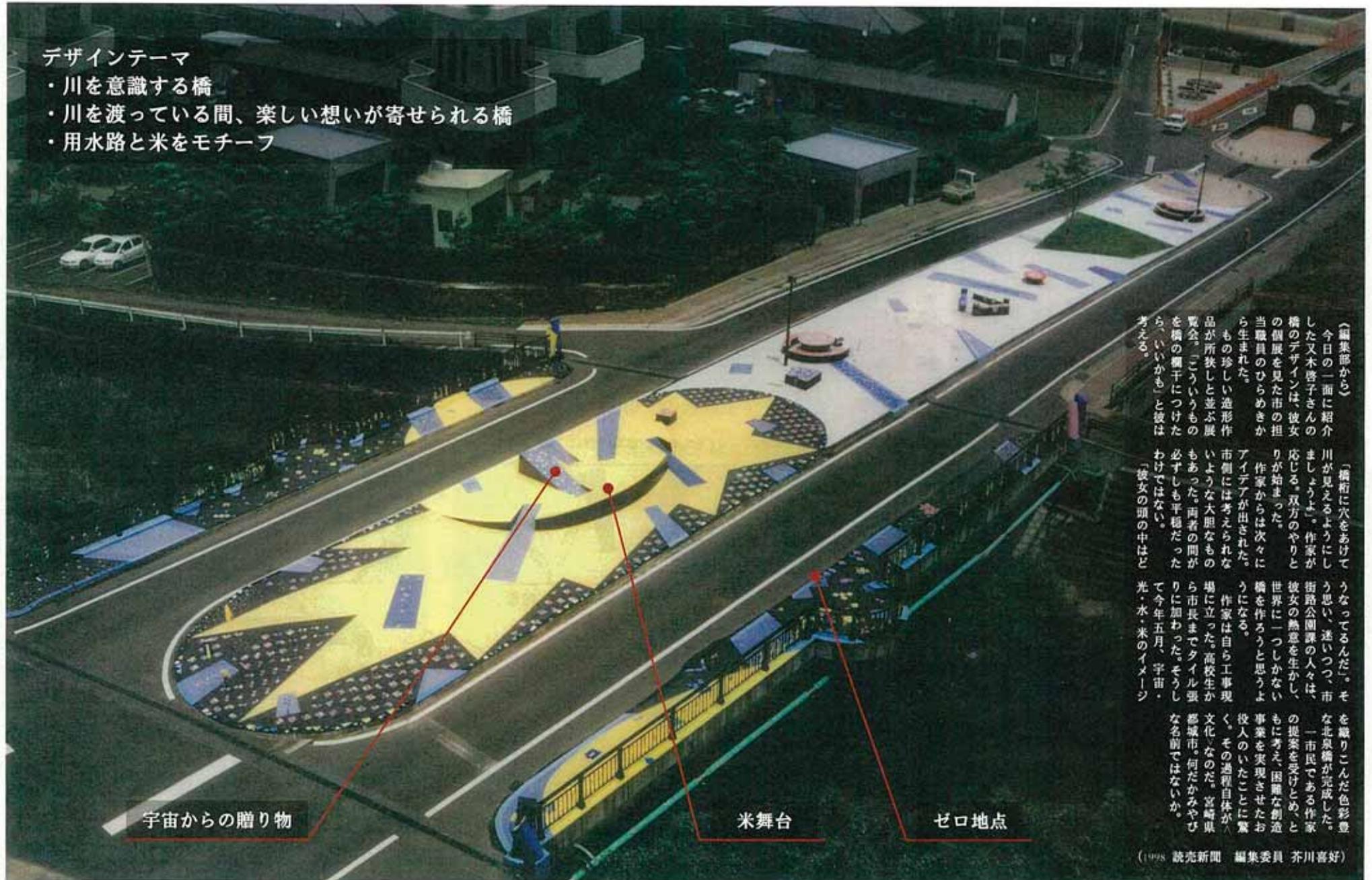


ぐるっと一人旅

北線橋

デザインテーマ

- ・川を意識する橋
- ・川を渡っている間、楽しい想いが寄せられる橋
- ・用水路と米をモチーフ



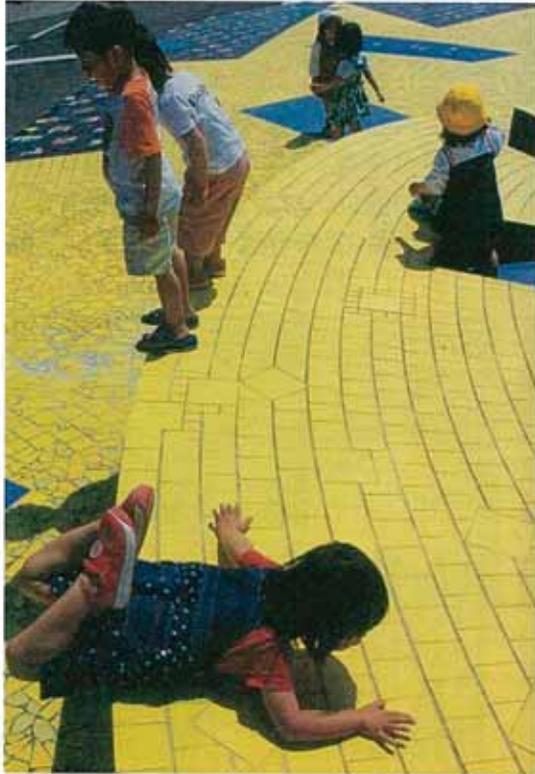
宇宙からの贈り物

米舞台

ゼロ地点

(編集部から)
 今日的一面に紹介した又木啓子さんの橋のデザインは、彼女の個性を見た市の担当職員のひらめきから生まれた。
 もの珍しい造形作品が所狭しと並ぶ展覧会。「こういうものを橋の欄干につけたら、いいかも」と彼は考える。
 「橋桁に穴をあけて川が見えるようにしようよ」。作家が応じる。双方のやりとりが始まった。
 作家からは次々にアイデアが出された。市側には考えられないような大胆なものもあった。両者の間が必ずしも平穏だったわけではない。
 「彼女の頭の中はどろろと穴をあけてうなってるんだ」。そう思い、迷いつつ、市街路公園課の人々は、彼女の熱意を生かし、世界に一つしかない橋を作ろうと思うようになった。
 作家は自ら工事現場に立った。高校生から市長までタイトル強りに加わった。そうして今年五月、宇宙・光・水・米のイメージを織りこんだ色彩豊かな北線橋が完成した。
 一市民である作家の提案を受けとめ、ともに考え、困難な創造事業を実現させたお役人のいたことに驚く。その過程自体が、文化、なのだ。宮崎県都城市。何だかみやびな名前ではないか。

心と足をとめて遊びたくなる橋



北泉橋を含む高木原緑道は、かつて灌漑（かんがい）用の用水路が通っていた場所。水路としての役目を終え、市街地部分約6キロメートルが、災害時の緊急避難場所、市民の憩いの場、生活道路を兼ね備えた緑道として整備された。

北泉橋の架け替えにあたり、市の公園緑地課（現：道路公園課）が「楽しさがプラスされた橋にしたい」と橋面デザインを依頼したのが、都城市出身でスペイン在住の画家 又木 啓子さん。

又木さんがイメージしたのは「渡ってみたいくなる橋、渡って楽しい橋、川を意識する橋」。そのうえで「地面（橋）をキャンバスに、宇宙、田園、水路をテーマにして立体的な絵を描く」というものだった。



橋の完成を機に、川の自然や環境保護に関心を持ち活動をしている個人や団体の意見交換の場が設けられた。清流に育つアサザ（希少種植物）やセリ、クレソンなどが、地元の高中生や近所の住人の手で北泉橋のたもとに植栽されるなど、川の水をきれいにするための取り組みも行われた。



橋のたもとに設けられた小さな展望台から見渡すと、製作指揮にあたった画家、確かな技術で仕上げた職人、ボランティアなど多くの人によって作り上げられた北泉橋が、一枚の立体的な風景絵画として目の前に広がる。北泉橋の黄色いタイルは宮崎の真っ青な空と太陽と不思議によく合う。鮮やかな色彩が見事に田園風景に溶け込んでいる橋なのである。



中央帯部分を中心に、太陽、月、米粒、水路が表現され、腰掛けたり円舞台としても利用できる憩いの空間が広がっている。特注で作った鮮やかな黄色いタイルや青、黒といった色彩豊かなタイルを全面に貼りつけてある。タイルの乱張り部分は市長はじめ近所の住人や高校生もボランティアとして参加し、タイル職人とともに一枚一枚手作業で仕上げられた。

親 柱



「エネルギーの柱」

若者が通う学校門前なので、勇気、力を感じさせる柱であって欲しいと願いをこめた。水と太陽をイメージ化し、若人の若々さと力強さを青で表現した。



「光の柱」

朝の太陽の動きによって受けた光が青い立方体に映る。
宇宙からの光を受けている意識を表現した。光が青い立方体に映る。



「歓喜の柱」

いろいろな色が、それぞれの人に楽しい思いを感じさせるように願い表現した。
3つのぞき穴からは、川の流れときれいな川に繁殖する緑のクレソン(せり科)が見える様にしてあり、自然の美しさをかいまみてほしいという願いからである。



「しずくの柱」

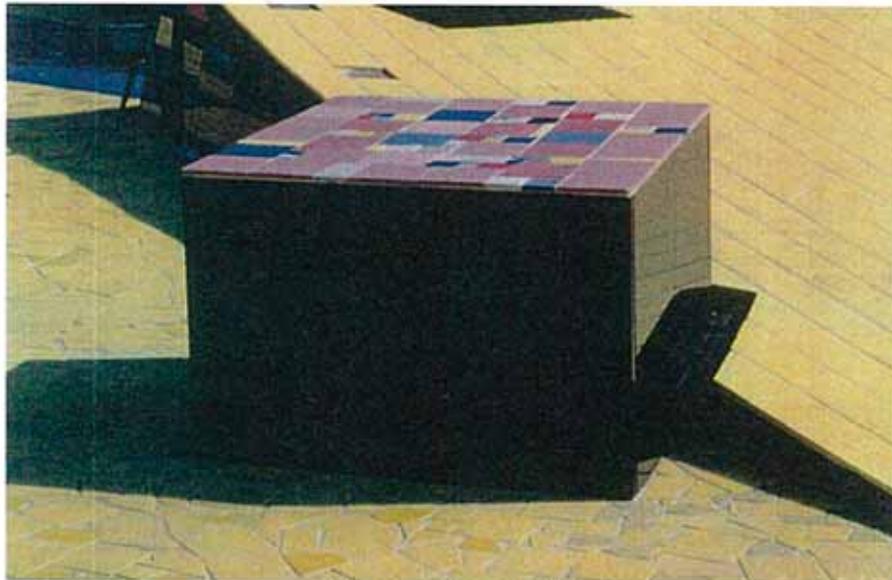
太陽に“月の水”が落ちたとイメージ化し、大きな宇宙の中にもキラリと光る存在であって欲しいと願った。そして、それらは常に健康的でありたいと黄色で表現した。2つのぞき穴から見せたいものは“空”と“地”である。



バルコニーと高欄



模様タイル



未来へのたまため箱 I

梅雨の晴れ間をぬって、都市の高木原緑道をサイクリングした。市街地を南北に縦断する全長五・八キロの公園は全国的にも珍しい。市南部の萩原川スタート地点から「ふれあいのみち」「緑のみち」と続き「水辺のみち」には転生、輪廻を表した巨大彫刻がそびえ立ち、足を止めさせる。そして、色鮮やかなタイル画とユニークなデザインが施された北泉橋。テーブルには太陽熱で回る電球のようなものが埋め込まれ、見ていてあきがない。

先日夜、その北泉橋上で小さな飲み会があり、デザインした画家の又木啓子さんを中心に施工担当者が集まった。酒を酌み交わし夜風に吹かれながら完成過程談義に花が咲く。話を聞きながら強く感じ

エコひいきな緑道

たのが、又木さんの作品に流れる人間と自然の共存を目指したエコロジー。実際、北泉橋下を流れる年見川で昨年の「はしの日」(八月四日)、又木さんと付近住民のボランティアがセリ、アサザを植栽して「うるおいのある橋からの眺め、きれいな川を取り戻そう」と訴えた。行動が作品に厚みを加える。

「高木原の広場」から「花の道」を抜けると終点。約一時間の小旅行だったが、あらためて高木原緑道の魅力は限りないと気付いた。至る所に設置された休憩所や水飲み場。子供や高齢者への配慮も行き届いているようだ。市街地の中のエコロジー空間。ひいき目じゃなく本当に素晴らしい。

橋

北泉橋 -1999-

(平成12年度 全建宮崎賞受賞)

渡って楽しい橋
川を意識する橋
用水路と米をモチーフ

遊歩道

光 -2001-

デザイン
又木 啓子

楽しいひと休み
試してみよう日時計
宇宙の力にふれよう

しずくの柱 (小さいながらも輝け・空地のそき)

コイのぼりバルコニー

宇宙からの贈り物

米舞台

未来へのたまため箱Ⅰ (橋に関わった人達のメッセージが埋め込まれている 1999.4.26)

光の柱 (朝日を受けて)

わ

2001年はじまりの光の通過点

時の影「アクション日時計」 (日時計になってみよう)

夏至・春秋分の光の通過点

わのわ

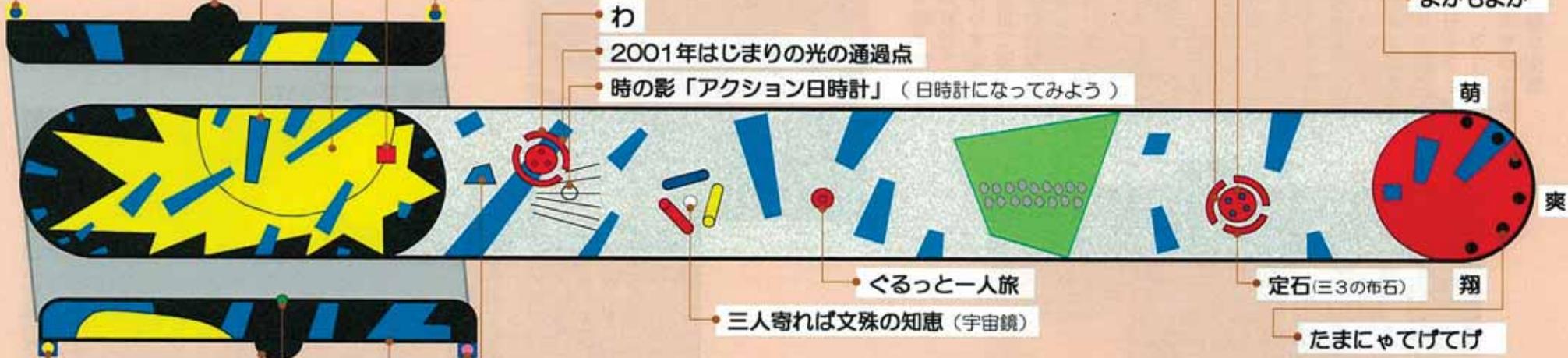
2001年元日9:40の光の通過点

よかもよか

萌

爽

翔



ぐるっと一人旅

三人寄れば文殊の知恵 (宇宙鏡)

定石 (三三の布石)

たまにゃてけてげ

未来へのたまため箱Ⅱ (市民の未来へのメッセージ「リレーカプセル」が埋め込まれている 2001.5.27)

歓喜の柱 (十人十色・川のそき)

欄干は米や稲穂イメージ

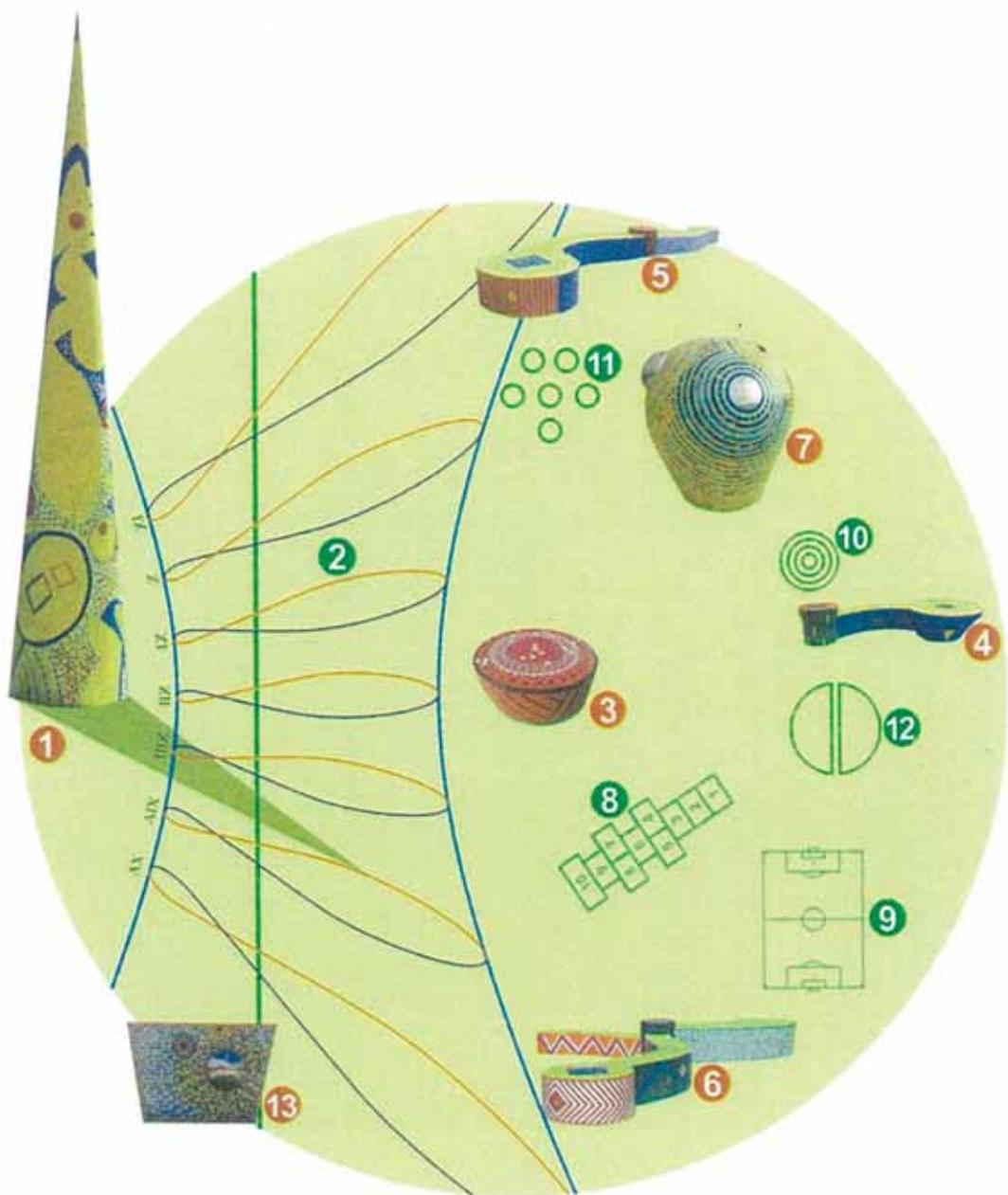


0地点

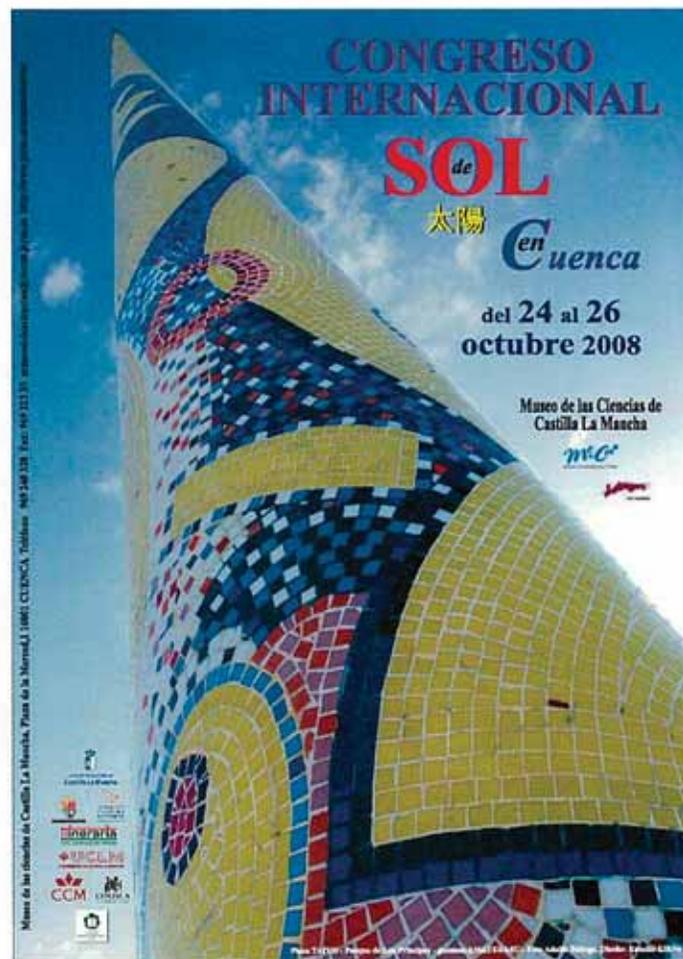
かわみるバルコニー

エネルギーの柱 (勇気・力)

・タイル模様には市民参加によるものもある
・青タイルの裏には市民、学生のメッセージが残してある



太陽広場 2006
スペイン・クエンカ市



クエンカ市在住の又木啓子さんらによる『太陽プロジェクト』の一環として、一〇月二四日〜二六日、同市で国際シンポジウム『太陽とアート』が開催、カタルーニャ州をはじめスペイン各地、日本、アメリカ、イタリアなどから約五〇人が参加した。



太陽シンポジウム in クエンカ 2008

国際シンポジウム
『太陽とアート』

クエンカ